

科目名：口腔保健管理法 (Comprehensive Oral Health Care) 履修年次/時期：2年次 後期 授業形態：講義・演習 担当教員： 中向井政子（実務経験有） 長谷 徹（実務経験有） 角田 晃（実務経験有）		必	2 単位 (90 時間)	
学修目的	う蝕や歯周疾患の口腔保健管理に加え、周術期や病棟などの OM（オーラル・マネージメント）およびチーム医療の一員としての基本的知識を学び、さまざまな人びとに対する口腔の健康管理に必要な実践力を培い、臨床へ対応できる。 また大規模災害時における歯科衛生士の活動の重要性を理解する。 CP：2～5, 科目 No. S2C10H14			
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP			
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. ライフステージ毎の口腔内状況が理解でき、かつ個人に対面した適切な口腔保健管理の実際および評価ができる。 2. 永久歯の保護（う蝕予防）、歯周組織の保護（歯周病予防）だけでなく、その他の疾病予防に対応した適切な口腔保健管理ができる。 3. 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解し、適切な口腔保健管理ができる。 4. 妊産婦の身体的・心理的特徴を考慮した口腔保健管理ができる。 5. 成人期の口腔保健管理を説明できる。 6. 補綴物およびインプラント装着患者に対する口腔管理について説明できる。 7. スポーツおよび運動実施者に対する口腔保健管理について説明できる。 8. 要介護高齢者に対して、居宅・施設における口腔ケア継続管理ができる。 9. 周術期の口腔機能管理について説明できる。 10. 大規模災害時における歯科衛生士の役割について理解する。 11. チーム医療についての基礎的な知識を得ることができる。 12. 口腔保健管理指導を行なった時の業務記録を記載できる。 13. 口腔保健管理と QOL との関連が説明できる。 14. 地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割を説明できる。			

授業概要	口腔保健管理法は業務系主要 3 科目を総合的にとらえたもので、歯科衛生士が臨床において業務をする時に重要な分野である。歯科衛生士が臨床の場で個々の対象に適した口腔保健管理プログラムを作成し、実践できる能力を養う。
評価方法	本試験（85%）、授業参加度、提出物（15%）により評価する。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。
予習・ 復習時間	【予習】 2.0 時間 【復習】 2.0 時間
教科書	その都度プリント資料を配布します。
参考書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」全国歯科衛生医師教育協議会 他 「災害歯科医学」医歯薬出版 ウィルキンス歯科衛生士の臨床 原著第 11 版 医歯薬出版 その他随時紹介します。
オフィス 連絡先	中向井政子 16:30～17:00（3号館2F 研究室） hoshino@kdu.ac.jp 角田 晃 12:10～13:00 16:30～17:00（4号館2F 研究室） tsunoda@kdu.ac.jp 長谷 徹 12:10～13:10（3号館 2F 研究室） nagatani@kdu.ac.jp 不在の場合がありますので、メールで予約していただければ確実に対応できます。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	<p>【口腔保健管理の意義】</p> <p>①口腔保健の意義について説明できる。</p> <p>②口腔疾患予防について説明できる。</p>	<p>予習：教科書 240-299</p> <p>復習：ノート作成</p> <p>キーワード：健康生成論、ヘルスリテラシー、健康、ライフスタイル</p>	<p>講義</p> <p>○中向井</p>
2 (/)	<p>【妊産婦の管理指導】</p> <p>①妊娠期の身体、心理的特性を説明できる。</p> <p>②妊婦の評価と各ステージ別口腔ケアを説明できる</p>	<p>予習・復習：小児歯科学のノートを参考にする</p> <p>キーワード：妊娠、出産、胎児の発育</p>	<p>講義</p> <p>○西村</p> <p>中向井</p>
3 (/)	<p>【小児の口腔保健管理】</p> <p>①乳幼児期の身体、精神的発達の特性について説明できる</p> <p>②小児の評価と各ステージ別口腔ケアを説明できる</p> <p>③永久歯の萌出開始から永久歯列の完成までを理解できる</p> <p>④歯列の状態に沿った口腔保健管理について説明できる</p>	<p>予習・復習：教科書 263-270、小児歯科学のノートを参考にする</p> <p>キーワード：う蝕、乳幼児、学童</p>	<p>講義</p> <p>○西村</p> <p>中向井</p>
4 (/)	<p>【業務記録】</p> <p>①歯科衛生過程を説明できる</p> <p>②業務記録の必要性について説明できる</p> <p>③業務記録の形式について説明できる</p>	<p>予習：教科書 62 ~76</p> <p>復習：配布資料の確認</p> <p>キーワード：歯科衛生過程</p>	<p>講義・演習</p> <p>○鈴木</p> <p>中向井</p>
5 (/)	<p>【地域歯科保健活動における継続管理】</p> <p>①市町村における健康づくりを理解し説明できる。</p> <p>②地域歯科保健活動や介護予防における歯科衛生士の役割を理解する。</p> <p>③地域ケア会議の役割を理解する。</p> <p>④かかりつけ歯科診療所における役割を理解する。</p>	<p>予習・復習：公衆衛生、口腔衛生で学修した地域歯科保健について復習しておく。</p> <p>キーワード：地域歯科保健事業、介護予防、地域包括ケアシステム</p> <p>地域ケア会議、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ、PDCA サイクル</p>	<p>講義</p> <p>○戸田</p> <p>○中向井</p>
6 (/)	<p>【保存修復後の継続管理】</p> <p>①う蝕予防のアプローチが説明できる。</p> <p>②う蝕予防としてのブラーク・コントロールの実際ができる。</p>	<p>予習・復習：成人歯科学のノートを参考にする</p> <p>キーワード：う蝕、予防</p>	<p>講義</p> <p>○長谷</p> <p>中向井</p>
7 (/)	<p>【歯周疾患の継続管理】</p> <p>①歯周治療におけるメンテナンスについて説明できる</p> <p>②糖尿病と歯周病について説明できる</p>	<p>予習・復習：成人歯科学のノートを参考にする</p> <p>キーワード：歯周疾患、糖尿病</p>	<p>講義</p> <p>○長谷</p> <p>中向井</p>
8 (/)	<p>【スポーツ歯科における口腔管理】</p> <p>①スポーツ選手の歯科的特性について理解する。</p> <p>②スポーツ選手への口腔清掃指導の要点が説明できる。</p> <p>③運動中の顎顔面への事故に対する対応方法を説明できる。</p>	<p>予習・復習：顎口腔領域の骨格について復習しておく。</p> <p>キーワード：スポーツドリンク、間食、骨折、歯の脱臼</p>	<p>講義</p> <p>○角田</p> <p>中向井</p>
9 (/)	<p>【要介護高齢者（居宅・施設）の口腔機能管理】</p> <p>① 要介護高齢者の生活背景について理解できる。</p>	<p>予習：高齢者歯科のノートを参考にする。</p> <p>居宅療養者に関わる医療職とその</p>	<p>講義</p> <p>○中向井</p>

	<p>② 要介護高齢者の全身状態、口腔状態の評価ができる。</p> <p>③ 老年期の口腔内状況が理解でき、かつ個人に対応した適切な口腔保健管理ができる。</p> <p>④ 施設スタッフに対して口腔機能管理について指導できる。</p> <p>予習：高齢者歯科のノートを参考にする。居宅療養者に関わる医療職とその役割について調べる。</p> <p>復習：配布資料の確認</p> <p>キーワード：介護、高齢者、多職種連携， Transdisciplinary Team【地域歯科保健活動における継続管理】</p> <p>① 市町村における歯科保健活動を理解する。</p> <p>② かかりつけ歯科診療所における役割を理解する</p>	<p>役割について調べる。</p> <p>復習：配布資料の確認</p> <p>キーワード：介護、高齢者、多職種連携， Transdisciplinary Team Model(相互乗り入れチームモデル)</p>	
10 (/)	<p>【大規模災害時の口腔管理①】</p> <p>① 大規模災害時の保健医療対策を概説できる。</p> <p>② 災害時における歯科ニーズについて説明できる。</p> <p>③ 被災地での歯科衛生士の役割・活動を概説できる。</p> <p>④ 災害時の歯科保健活動における連携について理解する。</p>	<p>予習：特に災害の種類について調べる。災害時において起こりうる歯科的問題と必要な対応について考える</p> <p>復習：災害時の医療活動について考える</p> <p>キーワード：災害医学，災害関連死，誤嚥性肺炎，DMAT，JMAT，フェーズ，トリアージ，歯科保健活動，多職種連携</p>	<p>講義</p> <p>○中久木 (招聘講師)</p> <p>中向井</p>
11 (/)	<p>【メンテナンス・その他管理】</p> <p>① 顔・口腔に障害を持った方の社会復帰を支援できる。</p> <p>② リハビリメイクの目的と意義を説明できる。</p>	<p>予習・復習：ノート作成</p> <p>キーワード：QOL</p>	<p>講義・演習</p> <p>○かづき れいこ (招聘講師)</p> <p>中向井</p>
12 (/)	<p>【矯正治療における口腔管理】</p> <p>① 歯科矯正治療とは、その目的を説明できる。</p> <p>② 治療中における問題点と対処法が説明できる。</p> <p>③ セルフケアのモチベーション維持の方法を説明できる。</p>	<p>予習・復習：歯科矯正のテキスト、プリントを復習する</p> <p>キーワード：セルフケア、プロフェッショナルケア、</p>	<p>講義</p> <p>○山内</p> <p>中向井</p>
13 (/)	<p>【義歯補綴患者の口腔管理・インプラント治療と術後の口腔管理】</p> <p>① 義歯使用患者にその使用方法を説明できる。</p> <p>② 日常と定期診査時における義歯の管理方法について説明できる。</p> <p>③ インプラント治療の流れを理解する。</p>	<p>予習・復習：義歯の構成要素について復習しておく。インプラントの概略を復習しておく。</p> <p>キーワード：義歯の構造、義歯清掃、フィクスチャー、メンテナンス器具</p>	<p>講義</p> <p>○角田</p> <p>中向井</p>

	④インプラント埋入患者の術後管理の要点を理解する。		
14 (/)	<p>【周術期等口腔機能管理】</p> <p>①周術期について説明できる。</p> <p>②周術期等口腔機能管理の対象となる患者について述べる ことができる。</p> <p>③周術期等口腔機能管理の目的について説明できる。</p> <p>④周術期等口腔機能管理におけるチーム医療の必要性を理解 できる。</p> <p>⑤がん手術前後の口腔衛生管理による手術時のトラブル防 止、誤嚥性肺炎や局所感染の予防方法を説明できる。</p> <p>⑥がんの放射線療法・化学療法による口腔粘膜炎の予防と それに対する口腔衛生管理の要点を説明できる。</p> <p>⑦人工呼吸管理患者の口腔管理について説明できる。</p>	<p>予習：がんについて調べる。口腔機能 管理が必要な医科疾患、VAP(人工呼 吸器関連肺炎)について調べる</p> <p>復習：配布資料を確認し、ノートをま とめる</p> <p>キーワード：周術期、がん、脳血管疾 患、外科手術、化学療法、放射線療法、 口腔粘膜炎、がん治療の有害事象、 VAP、チーム医療、NST、 Multi(Inter)-disciplinary Team approach、OM</p>	<p>講義</p> <p>○中向井</p>
15 (/)	<p>【口腔保健管理法まとめ：ライフステージによる口腔保健 管理】</p> <p>①ライフステージごとの特徴を理解できる。</p> <p>②ライフステージごとの歯科保健の目標を学ぶ。</p>	<p>予習・復習：歯科保健指導論で学修し たライフステージについて、ノート・ プリントを参考にする</p> <p>キーワード：ライフステージ</p>	<p>講義</p> <p>○中向井</p>